

7. ISO9001/ISO14001/OHSAS18001 当社での考え方・実施事項

ISO9001:2000 / ISO14001:2004(E) / OHSAS18001:1999(O)	当社での考え方・実施事項	記載箇所・参照様式
<b>5.3 労働安全衛生・環境・品質方針 (E,O:4.2)</b>		
a) 組織の目的	組織の目的：経営理念・経営方針	-
b) 要求事項への適合、マネジメントシステムの継続的改善に対するコミットメント	法・規制要求事項への適合：労安衛・環境・品質方針 第4項 製品要求事項への適合：労安衛・環境・品質方針 第3項 顧客要求事項への適合：労安衛・環境・品質方針 第3項 継続的改善：労安衛・環境・品質方針 第5項	4.各種方針・目的・目標(P3)
c) 目標の設定及びレビュー e) 適切性持続のためのレビュー	MS会議にて、インプット情報を確認して、方針・目標を見直す	MS会議(P20) F-01「各種会議議事録」
d) 組織全体への伝達、理解 (E:4.2.f、O:4.2.e) 一般の人、利害関係者が入手可能 (E:4.2.g、O:4.2.f)	本マニュアルの配付、社内・現場での方針・目的・目標の掲示によって周知 各種方針を「会社案内」、ホームページに掲載する	- コミュニケーション(P22) 方針の取扱い
<b>5.4 計画</b>		
<b>5.4.1 労働安全衛生・環境・品質目標 (E,O:4.3.3)</b>		
それぞれの(関連する)部門・階層での目標設定	全社・各現場・総務部において、「マネジメントプログラム」に目標を設定する	F-00「マネジメントプログラム」(P20,24)
製品要求事項を満たすために必要な目標	工事評点に関する労働安全衛生・環境・品質目標	4.各種方針・目的・目標(P3)
(達成度が判定可能で)方針との整合性がとれている目標	データ分析で達成度が分かり、労・環・品方針に基づいた目標	4.各種方針・目的・目標(P3)
E:4.3.3 法的・その他の要求事項、著しい環境側面を配慮した環境目的の設定・見直し	「環境影響評価シート」で選定した著しい環境側面(12点超)について、目的・目標を設定し、「マネジメントプログラム」で管理する	環境影響・危険度評価の実施(P24)
O:4.3.1 危険源・リスク、アセスメント結果・管理活動の効果を配慮した労働安全衛生目標の設定・見直し O:4.3.3	「危険度評価シート」で選定した重大な危険(12点超)について、目標を設定し、「マネジメントプログラム」で管理する	F-00「マネジメントプログラム」(P20,24) F-08「環境影響・危険度評価シート」
E,O:4.3.3 技術上の選択肢、財務上、運用上・事業上の要求事項、利害関係者の見解に配慮した目的・目標の設定・見直し	MS会議において顧客の声収集表、改善報告書によせられた地域住民、発注者の意見を参考にして、目的・目標を立てたり見直したりする	定例会議・MS会議(P21) F-01 F-04 F-18
<b>5.4.2 (品質)マネジメントシステムの計画</b>		
a) (目的)・目標を達成するためのマネジメントシステムの計画策定 (E:4.3.3、O:4.3.4)	MS責任者や現場担当者、総務部長がマネジメントプログラムに品質・環境・労働安全衛生の目標を立て進捗管理をする	環境影響・危険度評価の実施(P24) F-00「マネジメントプログラム」(P20,24)
E:4.3.3 (目的)・目標を達成するための責任と権限 O:4.3.4 (目的)・目標を達成するための手段及び日程	マネジメントプログラムに計画される実施責任者・対象者 マネジメントプログラムに計画される実施項目・日程	環境影響・危険度評価の実施(P24) F-00「マネジメントプログラム」(P20,24)

朱書は3規格共通の要求事項 Q(Quality:品質)=ISO 9001, E(Environment:環境)=ISO 14001, O(Occupational:労働)=OHSAS 18001